

追跡調査用

重症小児 COVID-19 登録及び MIS-C 全国調査共同研究
調査項目と調査票記入要項

● 情報が不明の場合には、【×】をご記載下さい。

● 調査対象者番号は、急性期に登録して頂いた番号と同じものをご記入下さい。

● Pediatric Cerebral Performance Category (PCPC): 小児用脳機能カテゴリースケール

スコア	分類	説明
1	正常	年齢相応の機能水準 未就学児においては相応の発達 学齢期の小児においては、普通学級に通っている
2	軽度の障害	年齢相応の水準で交流可能 軽度の神経疾患があるがコントロールされており日常生活を妨げない程度 (例, 痙攣性疾患) 未就学児においては、軽微な発達遅滞がありうるが、日常生活における全ての発達マイルストーンの 75%以上で 10 パーセンタイルを上回る 学齢期の小児においては、普通学級に通っているものの学年は年齢相応ではないか、年齢相応の学年にはいるものの認知力に問題があるため授業についていけない
3	中等度の障害	年齢相応の機能以下である コントロール不能で活動を著しく制限する神経疾患 未就学児においては、日常生活における発達マイルストーンの大半で 10 パーセンタイルを下回る 学齢期の小児においては、日常生活動作は行えるものの、認知力の問題または学習障害があるため、特別学級に通っている
4	重度の障害	未就学児においては、日常生活動作における指標で 10 パーセンタイルを下回り、日常生活動作で過度に他人に依存している 学齢期の小児においては、ときに通学できないほど重度の障害であり、日常生活動作で他人に依存する 未就学および学齢期の小児では、痛み刺激に対して不随意姿勢、除皮質硬直、除脳硬直などの異常肢位をとることがある
5	昏睡または植物状態	意識がない
6	死亡	

●退院後残存症状

COVID-19 の罹患後症状（いわゆる後遺症）は、COVID-19 に罹患した後に、感染性は消失したにもかかわらず、他に原因が明らかでなく、罹患してすぐの時期から持続する症状、回復した後に新たに出現する症状、症状が消失した後に再び生じる症状の全般をさしています。

WHO は、「**post COVID-19 condition (long COVID)**」として、「**新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に罹患した人にみられ、少なくとも 2 ヶ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないものである。通常は COVID-19 の発症から 3 ヶ月経った時点にもみられる**」 としています。

調査票には、日本の小児に多いと報告されている残存症状を記載してあります。該当する項目があれば、その項目にチェックを入れ、その症状の消失を確認した日を記載して下さい。症状が改善せず、持続している場合には、その旨を自由記載欄に記載して下さい。また、以下の症状を参考にして、調査票に記載されていない症状があれば、自由記載欄に記載して下さい。

【全身症状】

日中の易疲労感/眠気/倦怠感・睡眠障害・食欲減退

【目、耳、鼻、喉】

目の周りのクマ・鼻つまり・唇の荒れ・味覚/嗅覚障害

【心肺】

咳嗽・喀痰増加・運動中の動悸・胸痛・息切れ・めまいや立ちくらみ

【消化器】

腹痛・嘔気/嘔吐・便秘・下痢

【皮膚、髪、爪】

皮膚の痒み・皮疹・脱毛

【筋・骨格筋】

筋肉痛/関節痛・筋力低下・背部痛/頸部痛

【脳・神経】

頭痛・記憶障害/集中力低下

【気分・行動】

抑うつ・不安・特定の物事への恐怖・集団恐怖・閉所恐怖・パニック障害・不登校・悪夢・

過活動・ルールに従えない

【月経】

過多月経